

第13回 契約・調達管理会議 議事要旨

1 開催日時

令和6年3月7日（木曜日）16時30分から17時00分まで

2 開催場所

東京都庁第一本庁舎14階 19E 会議室（オンライン会議併用）

3 出席者

（1）委員（敬称略、五十音順、○委員長）

○鵜川 正樹 監査法人ナカチ（公認会計士）

川口 貴史 一般財団法人東京2025世界陸上財団総務企画室財務副部長（契約・調達課長事務取扱）

齋藤 政秀 東京都生活文化スポーツ局国際スポーツ事業部事業調整第一課長

三浦 大助 東京都生活文化スポーツ局事業調整担当部長

（2）事務局

東京都生活文化スポーツ局

4 要旨

（1）開会

（2）議事（発言者の敬称略）

ア 契約・調達管理会議（契約締結前）でのスポンサー契約の確認の視点について【資料2】

<説明・確認>

本会議に付議するスポンサー契約について、以下の視点に基づき確認を行うことを事務局から説明。

○契約候補者が入札参加資格を有し、欠格事由に該当しないこと

（該当カテゴリーに関する業務を担っている、破産手続中でないこと等）

○財団の役職員に、契約候補者と利害関係を有する者がいないこと、又は利害関係を有する者がいた場合に必要な確認手続を取っていること

○契約候補者が協賛基準額を上回る入札の中で、最も高い価格で入札を行っていること

イ 東京2025世界陸上公式プリンシパルサポーターズスポンサーシップ契約

（旅行代理店及びトラベルパッケージサービス）【資料3】

<説明・確認>

案件の概要について、事業担当者から主に以下を説明。

(ア)「旅行代理店及びトラベルパッケージサービス」 カテゴリーにおけるスポンサー公募を行い、協賛金額による入札を実施した。

(イ)「収入案件（スポンサー契約関係）」であるため契約締結前に付議する。

<質疑・意見など>

鵜 川：利益相反に関して、財団内で具体的にどのように確認を行っているのか。

担当者：財団の役員・職員は、着任時に利害関係がある企業について自己申告を行っており、それが予めリスト化されている。それに基づき、スポンサー関係の担当である業務開発部長が確認を行い、その結果を人事課に報告しており、人事課でもダブルチェックを行っている。

ウ 東京 2025 世界陸上公式プリンシパルサポータースポンサーシップ契約 (旅客鉄道輸送サービス)【資料 4】

<説明・確認>

案件の概要について、事業担当者から主に以下を説明。

(ア)「旅客鉄道輸送サービス」 カテゴリーにおけるスポンサー公募を行い、協賛金額による入札を実施した。

(イ)「収入案件（スポンサー契約関係）」であるため契約締結前に付議する。

<質疑・意見など>

鵜 川：今後、スポンサー契約の公募は、いつ頃行う予定か。また、公募を行ったが入札がなかったカテゴリーについては、どのような手続きを取るのか。

担当者：スポンサー契約については、4月以降に第2回の公募を予定している。

また、入札がなかったカテゴリーは、①協賛基準額である3億円以上を出してくれるプリンシパルサポーターが現れた場合には当該企業と特別契約を結ぶ、②協賛基準額を1億円に下げてサポーターとして再度公募を行う、③それでも見つからない場合はWAにカテゴリーの交換を申し出る、の3つの選択肢がある。

エ 東京 2025 世界陸上競技選手権大会開催に向けた逐次通訳業務委託(単価契約)【資料 5】

<説明・確認>

案件の概要について、事業担当者から主に以下を説明。

(ア)東京 2025 世界陸上競技選手権大会開催に係る、国際スポーツ団体等との会議や視察対応等に当たり、適切に意思疎通を図るために英語の逐次通訳業務を委託する。

(イ)入札手続きを行った結果、低入札となったため契約締結前に付議する。

(ウ)財団において、落札者へのヒアリング(見積額の妥当性、仕様書の理解、執行体制等を確認)を行い、落札者が履行能力のある業者であることを確認している。

<質疑・意見など>

特になし

(3) 委員長によるまとめ

- ・「契約・調達管理会議（契約締結前）でのスポンサー契約の確認の視点について」は、提案のとおりとする。
- ・契約予定案件については、各委員の意見もふまえ契約手続きを進めていただきたい。

(4) 閉会